



みちしるべ

令和5年4月14日

進路を切り開く1年間が始まりました。

不安とやる気が半々で迎えた始業式からあっという間に1週間が過ぎました。来週からは正規日課での学習も始まり、ようやく学校生活らしいリズムが戻ってくると思います。3年生は湖北台中学校の「最高学年」です。皆さんの活動のすべてが、後輩の手本になります。また、3年生は学校の顔です。「顔」とは、皆さんの表情や態度が「学校の象徴」となるということです。どんなときでも胸を張っていられるように常に努力して行きましょう。

その一方で、たびたび耳にする「進路」や「入試」「受験」という言葉に対して漠然とした不安感を抱いている人や、「今はまだ考えたくない」という人がいることも事実だと思います。しかし中学3年生という時間は、自分の将来について真剣に向き合い、周りの人たちの助けを得ながら自分の進路を決定していく時間です。この1年間は人として大きく成長し、自立した大人に近づいていく期間です。この時間を大切にしていきましょう。

最後に、3年生の皆さんも、そして保護者の皆様も、この1年間が実り多き年になることを共に願い、前向きに歩いていきましょう。湖北台中学校の職員一同でその道のりを支えていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

～進路関係書類～

* **進路希望予備調査（4月）**を17日（月）に配布します。進路希望調査は今回を含めて5回行います。家庭でよく話し合ってみてください。

提出期限：4月26日（水）

～学校公開・説明会～

第一学院高等学校 柏キャンパス 学校説明会&オープンスクール

日時：4月22日（土）13：00～15：00 対象：中学生とその保護者

※HPをよく見てみてください。

⇒希望者は小澤まで

* 進路の連絡事項は、3年活動室に掲示します。毎回チェックしてください。

〈進路担当からのお願い〉

3年生全員の進路開拓をスムーズに進めていくために、あらためて大切なお願いがあります。学校でも継続的に指導していますが、ご家庭でもぜひ一緒にご確認ください。

1、学校からの配布物や連絡を必ず当日中に保護者の方に渡す（伝える）こと及び、確認していただくこと。

学校から配られているプリントや配布物。毎日保護者の手に確実に渡っていますでしょうか？これまでの保護者会や二者面談の中で「子どもが全く手紙を出さない」、「配られてからずいぶん経ってから受け取ることがある」というご相談が非常に多く寄せられました。今年度はこれまで以上に重要な手紙、期限が遅れてしまうと大変な手紙が増えます。毎日必ず「今日の配布物/連絡」をご家族で共有していただくようお願いいたします。できれば直接受け取って一緒に内容を確認していただければ幸いです。

2、提出物の期限を守って提出すること

たとえプリント1枚でも、提出物の期限を守ることはとても重要です。入試事務では、ほんの1日あるいは1時間であっても、期限を過ぎると受付をしてもらえないことがあります。内容によっては、個人1人が困るだけではなく、他の大勢にまで影響がでることがあります。また期限内に提出したとしても、内容に不備が見つかれば、差し戻しになってまた新たな書類を最初から作り直しになってしまうこともあるので、提出前に内容の詳細を点検するという点にもご留意ください。進路関係の書類だけでなく、教科の課題やその他の提出物も同様の意識を持って「提出物の期限を守る」ということを習慣にしていきましょう。

3、学校でも家庭でも「大人任せ」・「子供任せ」にならず、小さなことでもコミュニケーションをとって進めること。

進路を決定するまでにはご家族の協力が不可欠ですが、その人生を歩んでいくのは生徒1人1人です。本人の意思や適性に合う道を切り開いていくためには、生徒自身の主体的な考えとともに、大人の広い視野からの助言や精神的支えが必要です。大人と中学生ですので、経験や価値観には差があって当然で、時には意見の相違や摩擦が生まれることがあります。しかし、そこで「大人任せ」や「子供任せ」にせず、対話を大切にしていきましょう。普段からいろいろな話をしていくことが、相互に納得のいく進路実現につながっていくと思います。

以上のことをお願いしました。約11か月後、学校と生徒と保護者が力を合わせて困難を乗り越えた先に、より納得した進路実現になることを願っています。